福島支部会報 24 号

日本山岳会福島支部

（平成 31 年 1 月から 3 月の活動）

平成３１年（2019 年)４月１５日発行
公益社団法人日本山岳会福島支部
支部長　佐藤　一夫
事務局　〒960-8133　福島市桜木町 13-43
渡　部　展　雄　　気 付
電話(FAX)：024-533-0541
携　帯：090-2880-9805

支部新年会・逸見会員歌会始入選祝賀会開催

２月２日午後５時から福島市グリーンパレスにおいて「平成31年支部新年会・逸見会員歌会始入選祝賀会」を開催、24名が参加した。逸見氏は登山の傍ら50年にわたり短歌を作り続け、昨年6月吾妻山登山中に詠んだ

湿原に　雲の切れ間は　移りきて
光りふくらむ　わたすげの絮（わた）

が平成最後の宮中歌会始の入選作となり、1月16日・皇居宮殿松の間で入選者10人の一人として披露された。以下宮中での情景を逸見征勝氏の言葉を伝聞で紹介します。

「歌会始が終わって10人が別室で両陛下から御言葉をいただいた。全員に出身県、名前、入選作、歌の背景についての質問があり、これにお答えした。そのあと天皇陛下から、個別に『最近異常気象は感じられますか？』との質問があり、吾妻の雪ウサギは農事暦でしたが今はあてになりませんとお答えし、皇后さまからの質問『ワタスゲは浄土平にたくさんありますか？』には、全く予想しなかったお声がけのため、いっぱいありますとお答えするのがやっとだった。」と。

日本山岳会福島支部会員の歌会始入選は創立70年以来初の慶事で、さらに、伊藤義男氏が推薦人となり入会した2名の新入会員の参加も得て宴はおおいに盛り上がった。
（新入会者①幕田芳典　②佐久間隆夫）

上　歌会始入選の感想を述べる逸見会員
左　伊藤義男氏の乾杯で祝宴開始

支部活動報告（2019 年 1 月～3 月）

山行委員会企画「真野川ｱｲｽｸﾗｲﾐﾝｸﾞ」

飯館村・真野川渓谷に少しずつ流れ落ちる小さな滝が、マイナスの寒冷気温で氷結する。支部山行委員会企画による「真野川アイスクライミング」は2月16日(土)、17日(日)の2日間にわたり実施。延べ14人が参加した。

真野川は標高 300m～350m と比較的低地なため、暖冬続きで氷結しないままシーズンを終えるかと思われたが、２月中旬からの寒波襲来によりようやく実施にこぎつけた。平成３０年支部総会で山行委員代表となった小柳安弘会員が、支部活性化と魅力ある福島支部のため沢登りと氷壁・雪稜登攀を企画、これの実践として取り組んだもの。支部ブログを閲覧し参加した非会員４名が２日間、小柳会員と彼の山仲間の指導を受け、氷壁登攀の技術を習得、参加者からは「来年もぜひ開催してほしい」との要望が寄せられている。

真野川源流に出現する氷瀑

小柳氏の登攀を見入る参加者

女性参加者の登攀

万世大路氷柱探索

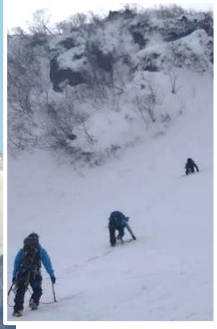
２月１７日（日）福島県山岳連盟県北支部と合同で万世大路・二ツ小屋トンネル氷柱探索を実施、９名が参加した。今回は県岳連が「栗子第二トンネル上部の最高点」までの登山を計画、参加者は福島支部９名を含めて２３人がトンネル内の氷柱と雪山を楽しんだ。

トンネル氷柱

二ツ小屋トンネル前で記念写真

安達太良箕輪山・東壁登攀

３月３日（日）支部山行委員会企画の「箕輪山・東壁登攀」を実施、７名が参加した。福島市内からは旧土湯峠を挟んで南側に箕輪山東壁の山容を見ることができ、例年 2 月下旬から３月中旬にかけて雪の締まった時が適期となる。本ルートは地元



山岳会の熟知するルートでもあり、CL 小柳、SL 沼田両会員とその山仲間のサポートでダブルアックスによる雪稜登山を体験。中でも女性参加者と 71 歳で参加した支部会員らは、「こんな登山が出来て感激」とのコメントを述べている。

～画像など詳細後述

磐梯山・東壁登攀

箕輪山東壁から一週間後の３月 10 日（日）、山行委員会企画の磐梯山東壁登攀を実施。参加者は支部から小柳、沼田会員の２名、非会員５名（女性 1）が雪稜に挑戦。

本ルートは山行委員会が「経験者のみ」として参加を呼び掛け県内外から５名が参加。女性参加者は「こういう登山をしたかった。感動です。」と事務局にメール送信してきたことを紹介します。

～画像等詳細は後述

ＪＡＣ宮城支部との霊山交流登山

3月23日(土)、宮城支部月例登山が霊山で行われ、富塚宮城支部長からの誘いで、交流登山を実施。

宮城支部から16名、福島支部から８名が午前9時に登山口で合流、天候にも恵まれ、春浅き木々の芽吹きを感じながら、他支部と初の交流登山となった。下山後は薪ストーブの「青柳山荘」で休憩、福島支部で淹れたコーヒーを飲み、しばし談笑を重ね宮城支部会員との親睦を図ることができた。

西大巓春山ｽｷｰ・ｽﾉｰｼｭｰ山行

3月25日（月）、山スキー4名、スノーシュー8名でグランデコスキー場から入山、吾妻連峰・西大巓（標高 1982m）を往復。平成 30 年度最後の支部山行として 2 名の非会員(女性)も加わり、寒波の影響で雪が張り付いたシラビソの林と、磐梯山はじめ、吾妻、安達太良等の眺望を楽しむことができた。

スキー組は楽勝　ｽﾉｰｼｭｰ組は苦戦

山頂で昼飯、寒かった

事務局からのお知らせ

１　平成 31 年度支部総会開催結果

４月６日（土）15:00 から三春町「三春の里田園生活館」において平成３１年度福島支部総会を開催した。採決した議案等を会員各位に郵送します。

本年度支部事業の特徴として、昨年立ち上げた「山行委員会（代表小柳安弘）」が 11 件の公募登山を計画、支部活性化に取り組みます。多くの会員の積極参画をお願いします

２　新入会員の紹介

３月に正会員に入会された２名を紹介します。推薦者は伊藤義男会員。お二人とも福島市南向台の「山楽会」に所属、山行歴も豊富で活躍が期待されます。

佐久間隆夫 63
北アルプス、東北の山を踏破、冬山経験あり

幕田芳典 65
写真が好きで登山をはじめ山行歴 6 年

支部山行委員会企画の雪稜・氷瀑登攀

真野川源流アイスクライミング（募集山行）

平成 31 年２月 16 日(土)、１７日(日) ２日間実施　メンバー7 名(女性１、男性 6)

氷結した３本の沢、２日間場所移動して実施

２月に入りシベリアから大寒気団が襲来して沢が氷結。山行委員会小柳会員指導によるｱｲｽｸﾗｲﾐﾝｸﾞを２日間にわたり実施。

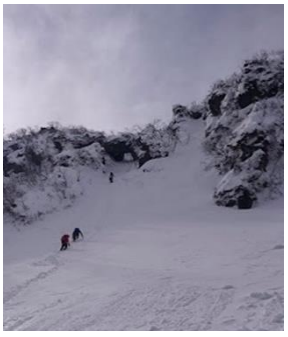
南相馬市から参加の K さん(30)、福島市の F さん(女性 55)、地元霊山町の Y さん(65)、吾妻山の会 H さん(33)、福校山岳部 OB 会 H さん、郡山の K さんなど初心者からベテランまで幅広く、2 月 16 日夜は青柳山荘に 4 名が宿泊、交流。

2/16 の参加者　　2/17 の参加者

安達太良・箕輪山東壁登攀

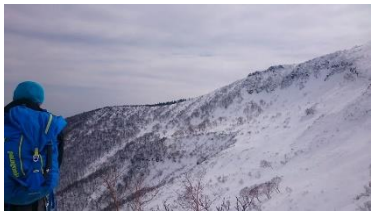
３月３日募集山行　メンバー7 名（JAC4、非会員・女性１、男性性 2）

JAC 福島支部山行委員会から小柳安弘、沼田渉、会員渡部＆佐久間



雪崩跡はないが難しい雪質　高度を稼ぐ　念のためロープを出す　ﾀﾞﾌﾞﾙｱｯｸｽで登る　あのﾄﾞｰﾑをくぐると幸運が

ﾒﾝﾊﾞｰ最高齢(71 歳)　別ﾙｰﾄから半澤さんが望遠で撮影　ﾄﾞｰﾑをくぐる佐久間さん　間もなく稜線（半澤撮影）



稜線に出る 後ろは吾妻連峰　登攀を終え下山準備　下山開始　登攀ルート確認(山頂を下った鞍部)

磐　梯　山　東　壁　登　攀

3 月 10 日　募集山行 メンバー7 名(女性 1 、男性 6）猪苗代ミネロスキー場より入山
JAC 福島支部山行委員会から小柳安弘、沼田渉 2 名参加

ルート

沼の平からルンゼを目指す

八島さん

頂上直下ルンゼ内の積雪

抜けるような紺碧の空

斜度が増してきた

トップクライマーは赤坂君

気合が入った表情

アイスバイルとスノーバー

リーダー小柳

抜けれるか

間もなく稜線

ラストの小柳 CL

頂上到着

山頂で記念撮影 後方飯豊連峰

猪苗代湖もきれい